

## ○志願者数・志願倍率の推移（全校種・全職種）

採用年度	2021年度採用	2022年度採用	2023年度採用	2024年度採用	2025年度採用
採用予定数	約 971 名	約 941 名	約918名	約944名	約965名
志願者数	2,793名	3,387名	3,780名	3,558名	2,911名
志願倍率	2.88 倍	3.60 倍	4.12倍	3.77倍	3.02倍

## ○試験会場別志願者数

試験会場	2024年度採用	2025年度採用	増減	前年度比
水戸会場	2,088名	1,802名	▲286名	▲13.7%
東京会場	1,121名	655名	▲466名	▲41.6%
仙台会場	107名	91名	▲16名	▲15.0%
名古屋会場	112名	109名	▲3名	▲ 2.7%
大阪会場	112名	224名	+112名	+100%
福岡会場	18名	30名	+12名	+66.7%
合計	3,558名	2,911名	▲647名	▲18.2%

➡全体の志願者数が、前年度と比べ647名減少

➡東京会場の志願者数が▲466名（▲41.6%）と大きく減少

## 2025年度以降の教員選考試験について

## 志願者増加のための取組

### (1) 第1次試験における「教職専門」の廃止

一般選考での教職専門廃止は全国“初”事例

#### 【目的】志願者の負担軽減

	～2024年度実施	2025年度実施～
第1次試験	①教職専門 ②専門教科・科目	①廃止 ②専門教科・科目
第2次試験	個人面接 模擬授業または集団活動 等	個人面接 模擬授業または集団活動 等

### (2) 外部試験（SPI3）による選考枠の新設

#### 【目的】転職者・民間企業併願の新卒者の受験の促進

- 民間企業の就職試験で活用されている外部試験（SPI3）で受験可能な選考枠を新設  
（採用予定人数のうち200名程度）

2025年度～	ターゲット層	1次試験（5月）	2次試験（7月）
一般選考枠	既存の教員志望者 （他県との併願者含む）	各教科等の専門教科・科目を受験 （前倒し選考通過者は免除）	模擬授業・ 個人面接等 （全受験者共通）
SPI3枠 （全校種）	民間企業就活の新卒者 転職希望者	SPI3を受験	

(3) 大学3年生を対象とした前倒し選考の早期化・対象の拡充

〔目的〕 教員専願の新卒者の受験機会の拡大

➤ **実施時期を早期化**（他都県より早く）し、**対象を全校種に拡充**

※2025年度以降、大学4年生・既卒者向けの1次試験と同日に専門試験・科目を受験

➡通過者は翌年度の1次試験（専門教科・科目）を免除

大学4年生・既卒者向けの試験と同様に、**大学3年生向け試験も全国最速時期に実施**

	上半期		下半期
2024年度 (現大学3年)		近隣都県 7月実施	〔 茨城12月実施 対象：小学校教諭 試験：教職専門 〕
2025年度～ (現大学2年～)	〔 茨城5月実施 対象：全校種・全職種 試験：専門教科・科目 〕	近隣都県 未定	

➤冬季の大学3年生を対象とした前倒し選考（小学校教諭を対象とした教職専門試験）については、今年度実施をもって終了